

2020 年度実施概要

学校名

階上町立小舟渡小学校

採択活動名

海を生きる

実施単元

単元名	学年	教科
1. 海を知る（海の生き物、海の環境、海のめぐみ、防災訓練）	全校	主に、1, 2 年生は生活 科、3～6 年 は総合的な 学習の時間
2. 海を遊ぶ（磯遊び、釣り大会、凧揚げ大会）	全校	
3. 海をほる（学校いちご煮祭りを中心にふるさとの海にふれる、塩づくり）	全校	
4. 海を守る（海岸清掃、山海学習会、伝承芸能：沖揚げ音頭、創作ダンス：心の海）	全校	
5. 海をつなげる（潮風トレイル、海の学習会、塩サイダー、スルメ、いちご煮）	全校	

取り組みの概要

①海を知る

海の生き物や環境の様子を、実際に海に行き行って調べたり、図鑑やインターネット等を活用して調べたりした。海に対する知識や考え方が深まった。

②海を遊ぶ

漁業部会や婦人会などの関係機関や詳しい方に協力してもらいながら、ただ遊ぶのではなく、①、③、④、⑤の活動の源になるように活動した。また、全校で絵に表すなど、他教科の学習活動の原動力にもつながった。

③海をほる

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として中止になった町のいちご煮まつりを、自分たちの手で来年へつなごうと、学校いちご煮まつりを行った。ふるさとの海が自分たちの海へと変わった。

④海を守る

毎月 1 回の海岸清掃、いちご煮まつりのための大清掃、町の産業振興課や社会教育課と協力して行った「海」と「山」の学習などを通して、自分たちの海は自分たちで守る、という実践ができた。海のゴミは減らなかったが、児童はゴミを捨てなくなった。（校庭からゴミが消えた。）

⑤海をつなげる

空間的つながり、時間的つながり、海の恵みのつながり、エネルギー的つながりなど、様々なつながりを感じ取っていた。これらの学びをこれからそれぞれがどう生かしていくのか、楽しみである。

①ウニの体を調べよう



②磯遊び



③学校いちご煮まつり



④海岸清掃



⑤海の学習会

